



## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成26年11月5日

上場会社名 株式会社中京医薬品 上場取引所 東  
 コード番号 4558 URL <http://www.chukyoiyakuhin.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 正行  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 辻村 誠 TEL 0569-29-0202  
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日 配当支払開始予定日 平成26年12月10日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の業績（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	2,839	△11.3	△10	—	△3	—	△3	—
26年3月期第2四半期	3,199	6.3	32	△57.2	38	△50.1	17	△40.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	△0.41	—
26年3月期第2四半期	1.56	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	5,130	2,032	39.6	246.84
26年3月期	5,039	2,047	40.6	249.45

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 2,032百万円 26年3月期 2,047百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
27年3月期	—	2.50			
27年3月期（予想）			—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成27年3月期の業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,120	△8.9	121	△38.7	131	△37.3	65	△50.1	7.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	11,660,734株	26年3月期	11,660,734株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	3,424,937株	26年3月期	3,452,054株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	8,221,888株	26年3月期2Q	11,115,219株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業務は今後の様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による成長戦略に基づく経済対策や金融緩和による円安・株高が進行し、国内景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方では、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動や海外経済動向など、先行きについては、依然不透明な状況が続いております。

このような環境の中で、当社は「もっと健康、ずっと幸せ。」を企業スローガンとして定め、お客様が心身共に健康で幸せな社会生活を営むことに貢献し続けていくことを使命として捉え、より一層お客様に「健康」と「幸福」をお届けできる企業を目指すために邁進してまいりました。さらに、お客様本位の営業を徹底し営業効率の向上と販売費及び一般管理費の削減による財務基盤の強化にも取り組みました。

家庭医薬品等販売事業におきましては、効率的となった営業体制と強固な財務基盤を維持継続しつつ、中期経営計画に基づき利益を重視した新たな経営戦略を推進してまいりました。

またアクアマジック事業部で展開いたしております売水事業につきましては、これまでのTwo-Wayの拡大に加え、ボトルの回収が不要なOne-Way方式においても注力し、全国展開による営業エリア拡大と顧客数の増加など事業拡大に努めました。

その結果、当第2四半期累計期間における売上高は2,839百万円(前年同期比11.3%減)、営業損失は10百万円(前年同四半期は営業利益32百万円)、経常損失は3百万円(前年同四半期は経常利益38百万円)、また四半期純損失は3百万円(前年同四半期は四半期純利益17百万円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①家庭医薬品等販売事業(小売部門・卸売部門)におきましては、小売部門においては、消費税増税による消費の反動が影響し、品目別においても保健品等の販売が減少し前期同期比で減収となりました。卸売部門においては、除菌消臭剤関連商品において商流変更やシーズンオフに伴う一時的な返品が重なりました。また飲料の販売につきましては特に関東地方の気候影響により消費意欲の減退や消費税増税により減少しました。その結果、売上高は2,547百万円(前期同期比12.5%減)、セグメント損失29百万円(前期同期はセグメント利益36百万円)となりました。

②売水事業部門におきましては、昨今の健康志向ブームによる飲料水へのこだわりと、拡大するミネラルウォーター宅配市場の成長の波に乗り、早期に中核事業の1つとして確立することを目指しております。またOne-Way方式により営業エリアが拡大され顧客への拡販も積極的に取り組みました。その結果、売上高は288百万円(前期同期比0.4%増)、セグメント利益18百万円(前期同期はセグメント損失3百万円)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は2,827百万円となり、前事業年度末に比べ26百万円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金の減少110百万円、商品及び製品の増加103百万円によるものであります。固定資産は2,302百万円となり、前事業年度末に比べ116百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産のその他の増加137百万円によるものであります。

この結果、総資産は5,130百万円となり、前事業年度末に比べ90百万円増加いたしました。

#### (負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は2,211百万円となり、前事業年度末に比べ4百万円減少いたしました。これは主に短期借入金の増加80百万円、支払手形及び買掛金の減少75百万円によるものであります。固定負債は885百万円となり、前事業年度末に比べ109百万円増加いたしました。これは主に長期借入金の増加111百万円によるものであります。

この結果、負債合計は、3,097百万円となり、前事業年度末に比べ105百万円増加いたしました。

#### (純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は2,032百万円となり、前事業年度末に比べ14百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金の減少24百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は39.6%(前事業年度末は40.6%)、1株当たり純資産額は246.84円となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の業績予想につきましては、平成26年10月29日付けにて発表しました業績予想からの変更はありません。詳細につきましては「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### 会計方針の変更

##### (退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げた定めについて第1四半期会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直した結果、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

なお、当該変更による損益等への影響はありません。

##### (従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱いの適用)

「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 平成25年12月25日)を第1四半期会計期間より適用しております。なお、現在導入している制度は、第1四半期会計期間の期首より前に締結された信託契約によるため、それに係る会計処理については従来採用していた方法を継続適用しております。そのため、当該会計方針の変更による影響はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	826,720	873,145
受取手形及び売掛金	584,264	473,469
商品及び製品	782,210	885,594
委託商品	436,623	404,475
仕掛品	103	91
原材料及び貯蔵品	46,316	49,432
その他	184,068	146,400
貸倒引当金	△6,267	△4,962
流動資産合計	2,854,038	2,827,644
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	435,120	423,945
土地	1,303,487	1,303,487
その他(純額)	82,028	219,367
有形固定資産合計	1,820,636	1,946,799
無形固定資産	55,976	55,511
投資その他の資産		
前払年金費用	38,533	46,613
その他	274,643	257,948
貸倒引当金	△4,105	△4,281
投資その他の資産合計	309,071	300,280
固定資産合計	2,185,683	2,302,591
資産合計	5,039,722	5,130,235
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	617,367	541,653
短期借入金	905,000	985,000
1年内返済予定の長期借入金	90,011	119,976
未払法人税等	7,672	6,389
賞与引当金	162,990	128,820
返品引当金	21,451	8,364
その他	411,581	421,278
流動負債合計	2,216,073	2,211,481
固定負債		
長期借入金	354,382	466,084
退職給付引当金	125,215	128,069
資産除去債務	4,454	4,478
長期未払金	234,590	234,590
その他	57,324	52,639
固定負債合計	775,967	885,862
負債合計	2,992,041	3,097,343

(単位:千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	681,012	681,012
資本剰余金	424,177	424,177
利益剰余金	1,971,708	1,947,471
自己株式	△1,036,457	△1,028,321
株主資本合計	2,040,441	2,024,340
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	7,239	8,551
評価・換算差額等合計	7,239	8,551
純資産合計	2,047,680	2,032,891
負債純資産合計	5,039,722	5,130,235

（2）四半期損益計算書  
（第2四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期累計期間 （自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）	当第2四半期累計期間 （自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日）
売上高	3,199,855	2,839,154
売上原価	1,178,982	891,659
売上総利益	2,020,872	1,947,494
販売費及び一般管理費	1,988,516	1,958,083
営業利益又は営業損失（△）	32,355	△10,589
営業外収益		
受取利息	60	27
受取配当金	1,562	1,295
受取家賃	5,720	6,201
貸倒引当金戻入額	2,965	378
事故保険金	2,558	2,770
その他	1,483	2,252
営業外収益合計	14,351	12,925
営業外費用		
支払利息	1,270	4,258
支払手数料	7,246	1,108
その他	81	0
営業外費用合計	8,597	5,367
経常利益又は経常損失（△）	38,109	△3,030
特別利益		
投資有価証券売却益	1,665	—
特別利益合計	1,665	—
特別損失		
固定資産除却損	279	—
特別損失合計	279	—
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）	39,495	△3,030
法人税、住民税及び事業税	6,913	2,037
法人税等調整額	15,189	△1,709
法人税等合計	22,102	327
四半期純利益又は四半期純損失（△）	17,392	△3,358



(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	39,495	△3,030
又は税引前四半期純損失(△)		
減価償却費	33,406	33,631
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△11,822	△1,128
退職給付引当金の増減額(△は減少)	3,341	2,853
賞与引当金の増減額(△は減少)	△119,000	△34,170
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△87,550	—
受取利息及び受取配当金	△1,623	△1,322
支払利息	1,270	4,258
固定資産処分損益(△は益)	279	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△1,665	—
売上債権の増減額(△は増加)	201,225	110,795
たな卸資産の増減額(△は増加)	△218,314	△74,338
仕入債務の増減額(△は減少)	110,311	△75,713
その他	△159,737	37,197
小計	△210,383	△966
利息及び配当金の受取額	1,541	1,265
利息の支払額	△1,268	△4,272
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△37,665	245
営業活動によるキャッシュ・フロー	△247,774	△3,728
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△19,802	△19,800
定期預金の払戻による収入	19,200	19,200
有形固定資産の取得による支出	△22,280	△155,186
無形固定資産の取得による支出	△1,850	—
投資有価証券の売却による収入	2,297	—
貸付金の回収による収入	451	—
その他	1,364	12,850
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,619	△142,935
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	80,000
長期借入れによる収入	—	200,000
長期借入金の返済による支出	△28,920	△58,333
リース債務の返済による支出	△14,082	△16,434
自己株式の取得による支出	△75	△68
自己株式の売却による収入	8,336	7,848
配当金の支払額	△27,756	△20,521
財務活動によるキャッシュ・フロー	△62,499	192,489
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△330,893	45,825
現金及び現金同等物の期首残高	1,048,872	661,137
現金及び現金同等物の四半期末残高	717,979	706,963

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期損益計算書計上額 (注) 2
	家庭医薬品等販売事業		売水事業部門	計		
	小売部門	卸売部門				
売上高						
外部顧客への売上高	2,274,536	635,794	287,729	3,198,061	1,793	3,199,855
計	2,274,536	635,794	287,729	3,198,061	1,793	3,199,855
セグメント利益 又は損失(△)	81,965	△45,812	△3,798	32,355	—	32,355

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない事業セグメントであり、保険事業部門等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当該事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期損益計算書計上額 (注) 2
	家庭医薬品等販売事業		売水事業部門	計		
	小売部門	卸売部門				
売上高						
外部顧客への売上高	2,256,951	290,904	288,749	2,836,604	2,549	2,839,154
計	2,256,951	290,904	288,749	2,836,604	2,549	2,839,154
セグメント利益 又は損失(△)	72,697	△102,163	18,877	△10,589	—	△10,589

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない事業セグメントであり、保険事業部門等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当該事項はありません。